

## 海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 議事録(要旨)

開催日時	平成 31 年 3 月 22 日 (金) 10 : 00～11 : 15
開催場所	旧千葉家住宅 主屋 (神保の間)
出席者等	<p>&lt;委員&gt; (敬称略)</p> <p>池 本 良 教 (広島国際学院大学情報文化学部 教授) …会長          吉 田 栄 二 ((株)シーエル広島 代表取締役)          有 田 伸 矢 (広島県地域政策局地域力創造課 主査 : 代理出席)          林 孝 (広島大学大学院教育学研究科 教授)          瀬 尾 浩 一 (広島銀行海田支店 支店長)          岩 崎 誠 (㈱中国新聞社 呉支社長)          箕 越 文 夫 (海田町消防団 団長) …副会長          山 岡 崇 義 (海田町自治会連合会 会長)          川 上 一 望 (海田町公衆衛生推進協議会 会長)</p> <p>&lt;事務局等&gt;</p> <p>西 田 祐 三 (海田町長)          胡 家 亮 一 (副町長)          佐々木 智 彦 (教育長)          鶴 岡 靖 三 (企画部長)          丹 羽 勤 (総務部長)          湯 木 淳 子 (福祉保健部長)          久保田 誠 司 (建設部長)          伊 藤 仁 士 (教育次長)          山 崎 純 (企画課長)          吉 川 寛 (企画課主幹)          加 藤 葵 (企画課主事)</p>
会議次第及び資料	<p><b>【会議次第】</b></p> <p>1 開会          2 町長あいさつ          3 議事              海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成29年度末時点の検証について          4 閉会</p> <p><b>【資料】</b></p> <p>海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成 29 年度末時点の検証について</p>

会 議 記 録

事務局	<p><b>1 開会</b></p> <p>皆さま、おはようございます。          定刻になりましたので、平成30年度海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を開会します。          本日は、ご欠席の方もおられますが、9名の委員にご出席をいただいております。          それでは、開会にあたりまして、町長からご挨拶を申し上げます。</p>
町長	(町長あいさつ)
事務局	それでは、池本会長、議事の進行をお願いいたします。
池本会長	<p><b>2 議事</b></p> <p><b>(1) 海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について</b></p> <p>皆さん、おはようございます。昨年度に続きまして、議事の進行をさせていただければと思います。どうぞご協力の程、よろしくをお願いいたします。          では、さっそくですが、議事に入りたいと思います。          本日の議事は、『海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成29年度末時点の検証について』でございます。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(資料の説明)
池本会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日は、次期総合戦略以降の取り組みについて、「海田町として重点を置く分野について」、「施策や事業のアイデアについて」の2点について意見交換を行っていきたいと思います。          意見交換にあたっては、委員の皆様方のご専門の分野や、それぞれのお立場等を含めたアイデア等、忌憚のない意見を幅広くいただきたいと思っております。          さっそくですが、何かご意見等ございましたらぜひお願いいたします。</p>
山田委員 (有田様)	<p>人口減少社会の中において社会増の目標達成は素晴らしいと思います。さらに成長を見込むためには、社会増について、どの年代が多く、どの年代が少ないかなど分析をされて、次期総合戦略では、市外から何世帯転入してきたなど、基本目標の社会増に直接繋がるKPIを設定されてはどうかと思います。</p>
池本会長	<p>社会増は、全国的には、なかなか見られなくなってきております。          社会増も民間の住宅建設や住宅事業による自然的な社会増と、行政を中心とした政策的な社会増というものがあり、後者が広く全国的に進められています。地域の方々も関わった形で社会増がどのように進んでいくかが、今後の地域の魅力を実感するという点で非常に重要だと考えます。実際、この間の社会増は、どのような推移があったか把握されていますか。</p>
企画課長	<p>年代別で言いますと、いわゆる子育て世代の方の流入が多くなっているというような状況でございます。それに伴い、出生数も増加しているのではないかと考えております。</p>
瀬尾委員	<p>企業様からお聞きするのですが、最近、好景気とまではいきませんが、仕事の方は順調に進んでいるようで、従業員の方が増えているというも実態だと思われま。それに伴って若い世代が少しずつ増えているという印象を受けています。          しかし、大きな問題として、資料にも記載の「空家対策」があると思います。          ハウスメーカー様からは、アパートを建てたいが土地がないかのご相談があります。また、企業様は、社宅や寮を建てたいという思いが多くあります。しかし、海田町というのは利便性も良く、物作りをされている方も多いため、土地がなかなかなく、買いニーズは多いが、売りニーズがほとんどないというのが実態です。          その中で、空家など誰も使用されないものが上手く売買され、そこに寮などが建設され</p>

	れば好循環を生むのではないかと思います。しかし、簡単に進むものではないと考えますので、当行としても、地方創生の一步として、空家対策に来年度以降は力を入れて、情報をいただければ、当行からハウスメーカーに繋げていくことも考えておりますし、そういう流れを少しずつ蓄積できたらと良いと思っております。
池本会長	社宅や寮の要望など初めてお聞きする情報もありました。そういう点では、空家対策や駅周辺の再開発なども1つのチャンスかなと思われれます。今後どのように進めていくかの中では、空家対策というだけではなく、新しい住宅施策という方向も重要なことだと考えます。事務局の方で何か関連の情報はありますか。
建設部長	現在、空家等対策協議会を立ち上げまして、関係者の方々も含めて、話し合いを進めております。来年度の6月頃を目標に対策計画をまとめ、町としてどのような方針で進むのか、お示しして進めていきたいと考えております。
町長	町においては民需の活用は大事なポイントでございますので、ただいま方策を検討している状況でございます。
箕越委員	海田町に転入された方が、海田町を選んだ理由は分析されていますか。
企画課長	正直なところ、そこまで分析はしておりません。委員の皆様から、海田町を選んだ理由の情報があればお聞かせ願えればと思います。
箕越委員	私も生まれも育ちも海田町なので、分りませんけれども、海田町を選んだ理由が分からないければ、施策の検証もできないと思います。例えば、利便性が良い、子育てしやすいという理由で人口が増えているのであれば、それを充実させていくのも1つ手段だと思います。
町長	分析とまでは至っておりませんが、現実には、子育て世代の方が随分転入されていると思います。また、近隣に働き場があるという環境も要因の1つではないかと思います。
川上委員	「住みよい」という女性の意見をよく聞きますが、海田町の進めているネウボラがどの程度寄与しているのでしょうか。ネウボラの利用者がかなりいると聞いていますが、その状況も教えていただければと思います。
福祉保健部長	ネウボラという形でひまわりプラザに拠点を設けて、その他にも子育て支援センターとして2施設、それと保健センターにおいて、子育てされている世帯が相談しやすい場ということで、色々な事業を行い、働きかけています。 子育てに悩まないための相談の場というのがありますが、それ以外にも繋がりができるということで、利用者が目標である年間約35,000人を約10,000人上回る実績となっております。お母様方からは、「安心できる」という声をよく聞いております。
池本会長	子育て環境が充実しているのは、海田町の特徴だと思われておりまして、ネウボラは、独特の取り組みではありますが、今のお話からも好評を得ているものと受け止められます。
川上委員	7月豪雨を受けて、町内でも「防災無線が聞こえない」や「避難をどうしたらよいか」等色々な問題が出てきていると思いますが、今後、安心・安全な住みよい町づくりに取り組むうえで、これらの対策が非常に重要になってくると思いますので、この辺りも今後検討していただければと思います。
池本会長	7月豪雨の際に、子育て世代の皆様において、他の世代や他の市町と比べて、違った対応や状況にあったという情報はございませんでしょうか。
福祉保健部長	発災前に、ネウボラ中で、防災の講話を行い、発災時にどうしたらよいかという話をさせていただいたり、防災情報を瞬時に入手できるように、ネウボラや各保育所・幼稚園において海田町の防災メールの登録の呼びかけを、継続して実施しているところでございます。
池本会長	若い世代には、メール等の新しい通信手段による情報のやり取りが有力であるといわれており、若い世代が多いということが、そこに上手く関わったということですね。
町長	実際の避難者の方について、10歳未満の方が非常に多く非難され、30代から40代の方も同様に多く避難されておりました。このことも、裏付けの一つとなるのではないかと思います。

	す。
山岡委員	海田町には、運動できるグラウンド、住民の憩いの場、広場や公園など、老人や子供が普段利用できる場が少なく、これは、自治会長の間でもよく言われております。 先ほどの空家対策の中で、子供やお年寄りが遊べる憩いの場所、公園を少しでもつくっていただきたいと思います。設備はともかく広場さえあれば、地域の方がそういった広場をうまく管理し、遊べる場所を自分たちでつくっていただけるようにしてほしいと思います。
吉田委員	商工会としては、新規に事業を行う方を求めて創業塾等を実施しております。その中で、空家をなんとか利用して商売ができないかということも、来年度は考えてきたいと思っております。それによって、海田町に住んで海田町で商売をするということ考えていますが、今、海田町内には空き家はどのくらいあるのでしょうか。
建設部長	最新の情報は精査中でございますが、3年前の情報では、その時点で空き家と認定している数は262でございます。
吉田委員	それは、地域的に偏りがありますでしょうか。
建設部長	1か所に集中ということではなく、散らばっております。この付近の市街地にも複数件ございます。
池本会長	実際に空き家を活用して事業をされる方もいらっしゃると思いますが、そういった方々の実績や今後の展開方向について、吉田委員から何かありますでしょうか。
吉田委員	今から検討していこうと思います。
池本会長	行政の方で、何か施策の展開はありますでしょうか。
建設部長	先ほども申し上げましたが、現在、空家対策協議会を開催し、今ご指摘のありました利活用も含めて対策計画を検討しておりますので、6月頃を目途にまとめてまいりたいと考えております。
川上委員	畝の地区に田原邸といのがあります。空き家の利用対策として、ボランティアグループでの活動も進められています。そういったものを増やしていけたらと思います。
林委員	学校教育については、地域の方々の協力を得られていますが、西日本豪雨では、地域の方々と子供たちが一緒になって取り組んでおり、生徒たちの活躍もありました。その中で、子供たちに町づくりの担い手になっているという意識が少しずつ出来上がっているのではないかと思います。 そう考えますと、高齢者と子供たちの力が一緒になって動いていくような仕組みが求められると思います。 また、子供たちの活躍を知らせることで、一緒にやりたいという地域の方を掘り起こしていくことも重要になっていくのではないのでしょうか。 別の項目になりますが、海田町には、働きに来る人も多くいると思います。その働いている方が、就業時間が終わっても海田町で時間を過ごし、海田町に引っ越して来たいと思える仕組みができないかと思います。
池本会長	学校教育の中では、技術・家庭科などで、子供たちへの防災や災害対応への取り組みは可能ではないかと思っております。実際、子供たちが、緊急の場でどのような動きがとれるかというのは、指導者や親御さんの関わり方が大事だと思っておりますが、ソフト的な面で林委員の方から何かお考えはありますか。
林委員	社会に開かれた教育課程という動きも重要になってきています。従前の総合的な学習で実施している職場体験など、これまでにやってきたものを中心に、さらに社会に開かれた教育課程という観点から、学校の中で留めるのではなく、社会と関連させることが重要だと思います。
教育長	防災についての学習は、東日本大震災以来、総合的な学習の中で取り扱っており、今後も行っていきたいと考えております。

	<p>地域や保護者が、学校に協力するという形ではなく、学校運営の中に参画していくという仕組みを考えていかなければならないと思っております。</p>
池本会長	<p>委員の皆様、それぞれの立場で子供たちと関わっていくことが重要だと考えております。そのためには、各地域活動、各団体の活動の中に学校教育と連携したような計画を検討していただければと思います。</p>
岩崎委員	<p>他の市の総合計画の委員に就任しておりますが、他の市町村では、「人口減」がキーワードのように出てきます。その中で、海田町は、人口減の心配は当面はしなくても良いという、県内でも特筆すべきすべき状況であります。しかし、逆に言えば、一種の危機感の欠如に繋がりがかねないと思えます。未来永劫に渡って海田町の人口増が約束されている訳ではないので、検証を通じて一定の危機感を持つというのは心掛ける必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>その上で、いくつか提案と意見を述べたいと思えます。</p> <p>時代の変り目にあたって、平成という災害の時代において、災害対応をどのように対応して、これからどうしていくのかという、長い視点での議論をしていく必要があると考えます。</p> <p>また、政策分野3の指標の「スポーツ大会年間延べ参加者数」が「やや遅れ」とありますが、参加者数という指標で見ればそうかもしれませんが、これだけ町として織田幹雄さんの顕彰に取り組んで施設もできるのであれば、それが反映されていないというのはもったいないと思えます。これだけやったというのが、政策評価で胸をはっても良いのではないかと思います。</p> <p>ただ、オリンピックはこれからですので、これ以上に織田幹雄さんに光をあてる努力をしていただければと思います。</p> <p>もう1点ですが、消防団員について、団員には地域の飲食店の割引券を配布するという取り組みしている事例もあります。海田町は、危機的な状況にはないと思えますが、消防団員の確保に向けた努力は必要ではないかと思えます。</p> <p>国の入管法改正で、外国人の動きがあります。海田町では、日系ブラジル人の受け入れで歴史はあると思えますが、その蓄積を踏まえて、新しい外国人人材の受け入れに対応していただければと思います。その中でも、住む・暮らすための対応が重要になってくると思えます。</p> <p>最後に、海田町が持っている文化遺産で活用されていないものがたくさんあります。地域の神事のPR等は、新しい地域住民に地域のことを知っていただく重要なチャンスであり、対外的な集客にも繋がるということで、地域の歴史遺産の活用をこれまで以上に進めていただければと思います。</p>
町長	<p>消防団に関して、強化していきたいという思いはございます。今後、消防団に係る付加価値を付けるサービスについても検討課題の一つとさせていただきたいと思えます。また、織田幹雄さんに関する取り組みについては、本町では力を入れて行っているところであり、日本人初の金メダリストを強調できるようにしていきたいと思っております。</p>
山岡委員	<p>災害時には人と人との繋がりが重要であると改めて感じました。現在希薄化している住民同士の絆を、行事を行うことで深めていきたいと思っております。また、人を呼び込めるようなイベントも行っております。そうしたイベントの承継のためにも、人材の養成も行っていきたいと思えます。</p>
池本会長	<p>伝統行事の復活や継承は大切だと思いますし、イベントの開催は町の魅力に繋がってくると思えます。海田の魅力を全国に伝えられるような新しいイベントの開催や伝統の承継等、織田幹雄さんに関連するものなど、海田町ならではの未来に繋がるものと考えていただければと思います。</p>
箕越委員	<p>県内において、浅野家入城400年記念ということで様々なイベントが行われていますが、例えば、旧千葉家住宅で、参勤交代でお殿様が泊まるときのメニューを再現する等が考えられると思えます。</p>
池本会長	<p>安芸区では大名行列を再現すると聞きました。見れば分かるものとしては、大名行列の再現というのは、新しい魅力になると思えます。</p>

	<p>そのためには、宿場町をどう保全するか、維持するか、活用するかという課題と繋がって来ると思います。県内でも宿場町の姿が変わってきている事例もあります。空き家や新しい建物の建設など、放置していると姿が変わってしまう懸念もありますので、空家対策も絡んで新しいイベントや行事などの実施も大事だと思っております。</p> <p>また、7ページの結婚に関する情報提供で「セミナー等の年間開催回数」が「やや遅れ」とありますが、昨今は結婚感が変わってきております。多様な社会のあり方を考えると、結婚も多様なパートナーシップというもの世界的にも認められてきており、日本は遅れていると言われていますが、どのような情報を提供するかというのもあるかと思っております。</p> <p>また、外国人も日本人と違う生活文化をもっている方も多いため、生活文化のあり方の配慮も必要になろうかと思っております。</p> <p>10ページの高齢者の安心な生活の支援の「地域コミュニティの拠点数」の「やや遅れ」もあります。これに関連で、若い人が増えていますので、若い人がどのようにコミュニティの担い手になっていくかという観点から、高齢者を支えるという意味で、若い方と地域の方、さらには高齢者と、どうマッチングしていくかということも取り組んでいただきたいと思っております。</p>
町長	<p>他市町との連携イベントも開催していますが、今は、単町ではなく連携の時代に入ってきております。次の時代に向けてどのように町全体を形成していくか、その模索の時代に入っていると感じています。</p>
池本会長	<p>他市町と連携をはかりながら行っていただければと思います。</p> <p>それでは、これで議事を終了させていただきたいと思っております。続いて事務局の方から何かございますでしょうか。</p>
事務局	<p>本日はお忙しい中大変ありがとうございました。</p> <p>いただきましたご意見につきましては参考にさせていただきます。町の方で今後にかかしたいと考えております。以上でございます。</p>
池本会長	<p>以上で本日の会議を終了します。ありがとうございました。</p>